

工学部の求める教員像及び教員組織の編制方針

(1) 求める教員像

- 本学の求める教員像を踏まえ、工学部における教育・研究・社会貢献・管理運営の各種活動に意欲的に取り組める者
- 工学部の人材育成に関する目的、卒業認定・学位授与の方針等に掲げる能力を教授するにふさわしい、工学に関する高度な専門的知識と、工学部における教育を実践する能力を有するとともに、継続的にその資質・能力の向上に努める者
- 建築学、工業化学、電気工学、情報工学、機械工学の各分野に関する高度な研究能力を有するとともに、これらの分野における基礎・応用・開発研究の持続的発展、研究成果の発信、社会への還元、イノベーションの創出、産業の発展等に寄与できる能力を有する者
- 国際社会の変動に伴う教育・研究にかかる社会的要請に柔軟に対応できる視野を有し、工学部のグローバル化に貢献できる者
- 周囲の教職員と多様性を認め合い協働しながら、工学部・所属学科における教育・研究・社会貢献・国際化・運営等の活動に対し、自らの役割を果たすとともに、大学全体の管理運営にも寄与できる者

(2) 教員組織の編制方針

- 工学部・各学科の目的、方針（ポリシー）を実現するために必要な教員を適切に配置する。
- 工学部・各学科における教育研究活動を継続的に実施するため、教育分野、研究分野、研究指導職位、年齢構成を踏まえた多様な人材を配置する。
- 工学部の教育・研究・社会貢献・国際化・運営の各種活動に対して、教員間で連携・協働するために、適切にその役割を分担する。
- 教員の募集・採用・昇任等にあたっては、工学部・学科の運営に資する人事であるかに留意し、本学の関係諸規程等に基づくとともに、透明性・適切性を担保しつつ、公正・公平に行う。